

CANDIDATE  
NAME

CENTRE  
NUMBER

--	--	--	--	--

CANDIDATE  
NUMBER

--	--	--	--



**JAPANESE LANGUAGE**

**8281/02**

Paper 2 Reading and Writing

**October/November 2015**

**1 hour 45 minutes**

Candidates answer on the Question Paper.

No Additional Materials are required.

**READ THESE INSTRUCTIONS FIRST**

Write your Centre number, candidate number and name on all the work you hand in.

Write in dark blue or black pen.

Do not use staples, paperclips, glue or correction fluid.

**DO NOT WRITE IN ANY BARCODES.**

Answer **all** questions in Japanese.

Dictionaries are **not** permitted.

You should keep to any word limit given in the questions.

The number of marks is given in brackets [ ] at the end of each question or part question.

**初めに注意事項を読みなさい**

氏名、受験番号、学校番号を試験用紙に記入しなさい。

黒またはこい青のペンを使用すること。

ホッチキス、クリップ、のり、修正液を使用しないこと。

バーコードには、一切何も書かないこと。

答えはすべて日本語で記入すること。

辞書の使用は**禁止**。

答えの字数制限を守ること。

試験問題の最後の [ ] 内の数字が各問い合わせの総合点である。

This document consists of **8** printed pages.

## PASSAGE ONE

## 「かそ」の市町村

ここ半世紀の間に日本のけいざいは大きく成長しました。都市には新しい産業と仕事ができ、若者を中心に多くの人々がいなかから都市にうつって住み始めました。そのため、いなかの(a) 人口が急にへってしました。このように少ししか人がいない村や町のことを「かそ地」と言います。

「かそ地」には重大なもんだいがあります。(b) 利用する人の数が少なくなると、店や病院がなくなったり、バスや電車も来なくなったりします。若い家族が住まなくなつ(i) たら、子どもの数もへり、学校が閉まることもあります。それで生活が不便になります。お年よりだけの村では、何百年も前からの古い文化や(c) でんとうなどを習って未来につたえてくれる人もいなくなるのです。

せいふのちようさ (ii) によると、げんざい日本の市町村数の45パーセントは「かそ」です。「かそ地」の人口は全国の人口の十分の一以下ですが、その土地は日本国土の半分以上です。その大部分の地方の産業は、米や野菜を作る農業や海や川で魚などをとる漁業や山で木を育てる林業 (iii) などです。それらは人々の生活をささえるため(iv) だけでなく、自然をまもるためにも、大切な産業だと考えられています。

最近、「かそ地」を変えようという運動が始まっています。これを「町づくり」とか「村づくり」とかと言います。働く場所を(d) ふやすこと、もっと住みやすくすることなど、せいふの(e) きょうりょくもあります。都市の人達に「かそ地」のすばらしさを知ってもらって、町や村にもどって来(v) てほしいからです。そうして、森や水などのうつくしいかんきょうや、昔からの文化をこれからのかども達にのこしたいと思っているのです。

5

10

15

20

もんだい 1

(a)～(e)のことばはどういう意味ですか。最も近いと思うものに○をつけなさい。

(a) 人口

1	
---	--

車の数

2	
---	--

人の数

3	
---	--

家の数

[1]

(b) 利用する

1	
---	--

使う

2	
---	--

住む

3	
---	--

あずける

[1]

(c) でんとう

1	
---	--

日本のもの

2	
---	--

新しいもの

3	
---	--

昔からのもの

[1]

(d) ふやす

1	
---	--

少なくする

2	
---	--

多くする

3	
---	--

よくする

[1]

(e) きょうりょく

1	
---	--

たすけあうこと

2	
---	--

しらべること

3	
---	--

ひっこすこと

[1]

[Total: 5]

**もんだい 2**

文中の **(i) ~ (v)** のひょうげんを使って文を作りなさい。テキストと同じ文を書いてはいけません。

**Example** ～てみる : てんぷらを食べてみる。

**(i)** たら (7 行目) .....

[1]

**(ii)** . . . に よると (10 行目) .....

[1]

**(iii)** など (13 行目) .....

[1]

**(iv)** . . . だけでなく. . . も (14 行目) .....

[1]

**(v)** . . . てほしい (18 行目) .....

[1]

[Total: 5]

もんだい 3

テキストを読んで、下のしつもんに日本語で答えなさい。テキストの文とぜんぶ同じ文で答えてはいけません。できるだけ自分の文で書いてください。

- (a) ここ半世紀に日本の都市はどのようにかわりましたか。

.....  
.....

[2]

- (b) 「かそ地」の生活の不便な点について 3 つ説明してください。

.....  
.....  
.....

[3]

- (c) 2 だんらく目に「古い文化がなくなる」と書いてあります。それはどうしてですか。

.....  
.....

[1]

- (d) せいふのちようさで、何がわかりましたか。

.....  
.....  
.....

[3]

- (e) どうして「かそ地」の産業は大切ですか。

.....  
.....

[2]

- (f) どんなことが「町づくり」の目的ですか。

.....  
.....  
.....

[4]

[Content: 15, Language: 5]

[Total: 20]

## PASSAGE TWO

## 「大地のまつり」の町をたずねる

「大地のまつり」は山田町で12年前に始まりました。前回の来場者は37万人以上で、世界でも最も大きい現代アートのまつりの一つとも言われています。今年も田んぼや学校など町の様々な所におよそ360点の作品がならぶ予定です。

海に近い山田町は米作りで有名な町ですが、冬には雪が多くふる高い山にあります。人々はこの土地で昔から、大変なくろうをして米を作っていました。しかし、近代になると都会の便利な生活にあこがれる若者は、冬のきびしい生活や農業をきらつて、都会へうつって、「かそ化」がすすみました。この町をどうやって元気にできるかと考え、びじゅつをきっかけにして、「町づくり」をしてみようと思ったのが、「大地のまつり」の始まりです。

5

世界中の国から来たげいじゅつ家が山田町の人の家にホームステイして、そこで生活する人に話を聞いて、土地に関係した作品を作り出します。それを町のいろいろな場所にかざります。町の人達だけでなく、都会からボランティアで来た若者達もみんなと楽しく話しながら手つだいます。このまつりはアートを通していろいろな人達が出会う場所にもなっています。

10

「大地のまつり」は、その土地にしかない食文化や生活を中心にして、町のすばらしさを発見してもらいたいとねがっています。もう住む人がいなくなった家をレストランにした「山の家」では、村のお母さんたちが作った家庭料理が食べられます。「最初はお客様が来るかどうか心配でした。でも、まつりが始まつたときは、本当に忙しかったです。たくさん的人がのこさないで食べててくれてうれしかったです。」と料理長の本田さんは言っています。

15

アートにはあまりきょうみのない人でも、おんせんや、食べ物、おまつりとか、楽しめることができます。町を歩いて作品を見るだけでなく、おんせんに入り、その土地にしかない食べ物を楽しむことで、町の生活をけいけんすることができます。それで、何度か来ている人の中には、この町を心のふるさとのように思う人もいます。

20

25

**もんだい 4**

テキストを読んで、下のしつもんに日本語で答えなさい。テキストの文とぜんぶ同じ文で答えてはいけません。自分の文で書いてください。

- (a) 「大地のまつり」について三つ説明してください。

.....  
.....  
.....

[3]

- (b) 若者が山田町から出て行ったりゆうを三つ書いてください。

.....  
.....  
.....

[3]

- (c) 「大地のまつり」の目的は何ですか。

.....

[1]

- (d) 町の人は「大地のまつり」に来たげいじゅつ家を、どのようにてつだいますか。

.....  
.....  
.....

[3]

- (e) 「大地のまつり」のいい点は何ですか。

.....  
.....

[1]

- (f) 「山の家」で本田さんはどんなけいけんをしましたか。

.....  
.....  
.....

[3]

- (g) 山田町が「心のふるさと」になるりゆうは何ですか。

.....  
.....

[1]

[Content: 15, Language: 5]

[Total: 20]

もんだい 5

下の二つの点について、げんこう用紙に日本語で280字ぐらい書きなさい。

- (a) この50年の間に、かその町や村ではどんなことが変わりましたか。そして、これから何が変わるでしょうか。テキスト1と2を読んで、答えなさい。 [10]

(b) あなただったら、かその町をどうやって元気になりますか。 [5]

[Content: 10(a) + 5(b), Language: 5]

[Total: 20]

Permission to reproduce items where third-party owned material protected by copyright is included has been sought and cleared where possible. Every reasonable effort has been made by the publisher (UCLES) to trace copyright holders, but if any items requiring clearance have unwittingly been included, the publisher will be pleased to make amends at the earliest possible opportunity.

To avoid the issue of disclosure of answer-related information to candidates, all copyright acknowledgements are reproduced online in the Cambridge International Examinations Copyright Acknowledgements Booklet. This is produced for each series of examinations and is freely available to download at [www.cie.org.uk](http://www.cie.org.uk) after the live examination series.

Cambridge International Examinations is part of the Cambridge Assessment Group. Cambridge Assessment is the brand name of University of Cambridge Local Examinations Syndicate (UCLES), which is itself a department of the University of Cambridge.